３　研修のカリキュラム

資料3－1

人事院の実施する研修のカリキュラム例

◇平成20年度 初任行政研修

～実地体験や討議を多数盛り込んだカリキュラム～

分類	科目	時間数	ねらい
体験を通して行政の在り方を考える	介護等実地体験	48	社会福祉施設における介護業務等の実地体験を通じて、国民全体の奉仕者としての視点を養う。
	地方自治体実地体験	47	地方自治行政の実地体験や、地域住民との意見交換を通じて、地域の生活実態、住民の意識等についての認識を深める。
	国際協力の現場	3.5	国際協力の最前線で活躍した経験に基づく話を聞き、国際情勢や我が国の国際協力の在り方等について認識を深める。
	日本への期待	3.5	在日外国大使館職員の話を聞き、国際社会における我が国の立場、期待される役割等について認識を深める。
公共政策の在り方を多角的に検証し考える	政策課題研究	22	府省横断的な政策課題について、講義や班での討論を通じて、長期的な視点に立つ具体的な提言をまとめる。
	政策形成の実際と行政官	2.5	各府省の行政課題を題材とする講義、質疑を通じて、実際の政策形成に当たって必要となる視点や手続等について学ぶ。
	行政政策史	25	歴史的意味の大きい行政事例を題材とする講義や討議を通じて、行政の責任、使命等について考える。
	政策ディベート	12	公共政策に関する討議を通じて、幅広い視点、論理的思考力、相手の意見を的確に把握する力を身に付ける。
全体の奉仕者としての使命と職責について考える	行政官として	6	有識者から、自らの経験に基づいた行政官の心構えに関する話を聞き、国家公務員としての自覚と使命感を醸成する。
	公務員倫理を考える	3	事例研究などを通じて、倫理的な行動の在り方について検討し、実践への動機付けを図る。
	古典に学ぶ	3	古典を通じて、リーダーとしての心構え・素養について考える。
	人権	2.5	障害者、犯罪被害者等、人権問題に直面した者の話を聞き、現状を認識し、基本的人権に対する意識を高める。
	メディアから見た行政	2	行政の説明責任等に関する講義を通じて、国家公務員としてのメディアとの関わり等について考える。
	公文書の意義とその管理	1.5	行政機関における公文書管理の意義、我が国の現状とその問題点について、講義を通じて理解・意識を深める。
	メンタルヘルス	3	講義や演習を通じて、メンタルヘルスに関する理解を深め、ストレスへの対応について考える契機とする。

◇行政研修（課長補佐級）　８日間（通勤３日、合宿５日）

分　類	研　修　科　目	技　法	時間数
全体の奉仕者としての使命と職責について考える	職業と倫理	講義・討議	3
	古典に学ぶ	講義	2～2.5
	文化・文明論	講義	2
公共政策の在り方を多角的に検証し考える	政策課題研究	基調講義 関連講義 班別討議 全体討議	3 2～4 14～15 4
	個別政策研究	班別討議	10.5
公正な公務運営について学ぶ	コミュニケーションスキル	講義・実習	3
諸行事	開・閉講式 オリエンテーション		3
		合計	48

◇行政研修（課長級）　５日間（合宿）

分　類	研　修　科　目	技　法	時間数
全体の奉仕者としての使命と職責について考える	行政の在り方	講義	3
	古典に学ぶ	読書研究	6
公共政策の在り方を多角的に検証し考える	政策課題研究	レクチャー・フォーラム	3
	文化・文明論	講義	3
	個別政策研究	班別討議	8～10
公正な公務運営について学ぶ	マネジメント研究Ⅰ	講義	3
	マネジメント研究Ⅱ	講義	3
諸行事	開・閉講式 オリエンテーション		2
		合計	32～33

（注）レクチャー・フォーラムは、前半に講義を行い、後半に質疑応答・意見交換を行う。

◇平成20年度初任行政研修「行政政策史」カリキュラム概要
（長良川河口堰建設事例）

社会的、歴史的意味の大きい行政事例に関する研究・討議を通じて、行政の責任等について多角的に考察を深め、全体の奉仕者としての自覚を促す。

１．実施方法

班別資料検討等	……資料検討
↓	
基調講義	……講師（当時の担当行政官）から事例に関する講義
↓	
班別討議	……班に分かれ、討議、報告書作成及び発表準備
↓	
全体討議	……討議結果の発表、講評及び総括講義
↓	
個人レポート作成	……資料、講義、討議などを踏まえて個人レポート作成

２．班別討議課題

課題１　建設に当たって、①地元県・市町村、②地域住民・関係権利者、③地域住民以外の意見表明者との間の意見の調整はどのように行われたか。また、どのようにすべきであったと考えるか。施策の立案・実施について、従来と同様の方法がうまくいかなかったのはなぜか。

課題２　長良川河口堰の建設の経過を称して「情報戦争」とする見方があるが、このような観点から、建設に反対する側と推進する側それぞれの対応についてどう考えるか。また、行政の行政部外に対する情報提供・公開の在り方についてどう考えるか。（特にマスコミに対する情報提供の在り方。）

課題３　行政の作為、不作為ともその結果が不適切であった場合には責任を問われることとなるが、長良川河口堰の建設によって果たされる「行政としての責任」についてどう考えるか。

◇平成20年度　幹部行政官セミナー（アスペンメソッド）

アスペンメソッド：古今東西の古典を素材に、優れた思想や人間的価値の本質を探る中で、深い教養に根ざした洞察力、職業公務員としての高い倫理観の養成を目指した思索型プログラム

1日目	2日目	3日目	4日目
	8:30～12:00 Session2 「認識」	8:30～12:00 Session3 「美と信」	9:00～12:30 Session4 「デモクラシー」
11:10～12:40 開会挨拶 オリエンテーション			
12:40～13:40 昼食	12:00～13:00 昼食	12:00～13:00 昼食	12:30～13:10 昼食
13:40～17:10 Session 1 「世界と日本」	13:00～15:00 懇話会 「アメリカの大統領選挙」 本間　長世先生 東京大学名誉教授	13:15～15:15 懇話会 「哲学と詩の和合」 今道　友信先生 哲学美学比較研究国際センター所長	13:10～14:30 レビュー・セッション
自主研究	自主研究	自主研究	

体系的な教育の例 －倫理観の涵養の場合－

資料3－2

審議官級・筆頭課長級

より高い倫理

アスペンメソッド
○古典講読（古典の講読を通じた倫理観の涵養）

課長級

40歳～

管理者の倫理

課長級
○古典講読　　○講義「行政の在り方」

課長補佐級

30歳～

倫理の振り返り

課長補佐級
○古典講読
○公務員倫理演習

課長補佐級特別課程
○講義「公務員倫理」

係長級・係員級

～30歳

倫理の基礎固め

3年目フォローアップ研修
○公務員としての在り方を考える
（行政官OBによる講義）
○公務員生活の振り返り
（討議・レポート作成）

係長級特別課程
○公務員倫理演習

初任行政研修
○行政官の在り方
（行政官OBによる講義）
○古典講読
○公務員倫理演習

係員級特別課程
○公務員倫理演習

合同初任研修
○公務員の在り方
（行政官OBによる講義）
○公務員倫理演習
（服務・倫理の説明・演習）

(注)「特別課程」とは、Ⅱ種・Ⅲ種等採用職員を対象とする研修であり、計画的育成者の登用の推進に資することを目的とする。